

# 文化浴泉

Bunkayokusen  
(東京都目黒区)



外観

久しぶりに東京の銭湯へやってきた。しかも、今回紹介するのは今まで紹介したことのなかった目黒区の銭湯だ。私にとって目黒区は交通の便が悪いので、なかなか訪れる機会がなかった。

紹介するのは文化浴泉だ。東急田園都市線・池尻大橋駅から徒歩約 5 分。商店街の中にある小さいビルの半地下のような場所だ。

文化浴泉は改築されたばかりの新しい銭湯である。落ち着いた雰囲気の内装、広々としたロビーが客を迎えてくれる。ロビーのテレビは特大サイズ。今話題のテルマエロマエの漫画本も置かれている。

フロントで下駄箱の鍵を渡すと、ロッカーのカギと交換してくれる。この儀式は、なぜか男湯だけが経なければならない。男湯の方が、鍵の紛失が多いということだろうか。

脱衣室に入る。脱衣室のロッカーは 39 個。ロッカーは数字ではなく、ひらがなで番号がふってある。天井には鳳凰のような鳥が描かれている。

尚、文化浴泉では、パーソナルロッカーが脱衣室ではなく、ロビーにある。確かに、ロビーにあれば、夫婦がそれぞれパーソナルロッカーを借りる必要はなく、一つだけで事足りる。

いよいよ浴室である。浴室でまず目を引くのがペンキ絵だ。壁全体に描かれているのではなく、直径 1m ほどの丸い窓のような部分に描かれている。「2011.3 ナカジマ」と記載された赤富士だ。女湯の方を見れば、オーソドックスな構図の富士山。女湯も丸い絵になっている。この丸い絵、額縁のように取り外せるのだろうか。だとすれば、絵を掛け替えるのも容易であろう。文化浴泉によれば、このような丸いペンキ画は銭湯史上初の試みだという。まるで、丸い窓の向こう側にある景色を見ているような不思議な錯覚を起こさせている。

浴槽は、座風呂 (1 人分)、ボディーマッサージ風呂 (2 人分) が備えられた泡風呂と、ナノ風呂、水風呂の 3 つだ。ボディーマッサージ風呂は、水流が背面から出るタイプと、左右から出るタイプの 2 種類がある。背中、肩、腰をマッサージしたい場合は前者、横つ

腹のぜい肉をいじめたい場合は後者ということになる。湯温は 42℃を示しており、適温。

ナノ風呂は真っ白な湯が特徴だ。直径 100 ナノメートルの細かい気泡により、温熱効果、洗浄効果、エステ効果、ダイエット効果等が期待できるという。湯温は 42℃を示しているが、ぬるめである。

水風呂は水温 20℃。かなり冷たく感じる。この水風呂から少し離れたところにサウナがある。定員は 4 人ほど。室内温度は 80℃くらいである。

洗い場は全部で 18 箇所。すべての洗い場にシャワーヘッドがある。洗面器はケロリン桶であるが、「文化浴泉」のロゴマークが入ったオリジナル桶だ。椅子は高めで膝への負担が少ない。

脱衣室へ戻ると、常連客が体にパウダースプレーを吹きかけていた。なるほど、暑い夏に風呂上りのすっきり感を持続させるには、やはりパウダーが必需品か。私は朝の出勤前にしか使っていなかったが、これからは風呂上がりにも使ってみようと思った。常連客からはいろいろと学ぶことが多い。

東京の銭湯はどんどん数が減っている。しかし、文化浴泉のような新築の銭湯も生まれている。文化浴泉は改築にあたり、都会生活の中で銭湯のうるおいを日常的に楽しんでもらうことを考えたという。銭湯ファン思いのありがたいコンセプトだ。そして、文化浴泉は、そのコンセプトを言葉だけでなく具現化してくれている。

暑い夏が続いている。夏は嫌いだ、文化浴泉のうるおいが私を救ってくれた。

- **名称**：文化浴泉
- **所在地**：東京都目黒区東山 3-6-8
- **電話**：03-3792-4126
- **営業時間**：15:30～25:00、日曜朝湯は 8:00～12:00
- **定休日**：月曜日（祝日の場合は翌日休）
- **入浴料**：大人 450 円、中人（6 歳以上 12 歳未満）180 円、小人（6 歳未満）80 円、サウナ追加料金 300 円
- **サウナ**：あり
- **テレビ**：不明
- **取材日**：2012 年 7 月 24 日（火）
- **取材**：銭湯愛好会・東京支部